

厚生労働省三重労働局発表
 令和6年10月1日
 テレビ・インターネット 10月1日8時30分解禁
 新聞 10月1日夕刊解禁

【照会先】
 三重労働局職業安定部職業安定課
 課長 奥野 裕子
 課長補佐 村井 邦章
 地方労働市場情報官 山本 佳弘
 (電話) 059 (226) 2305 (内線228)

報道関係者 各位

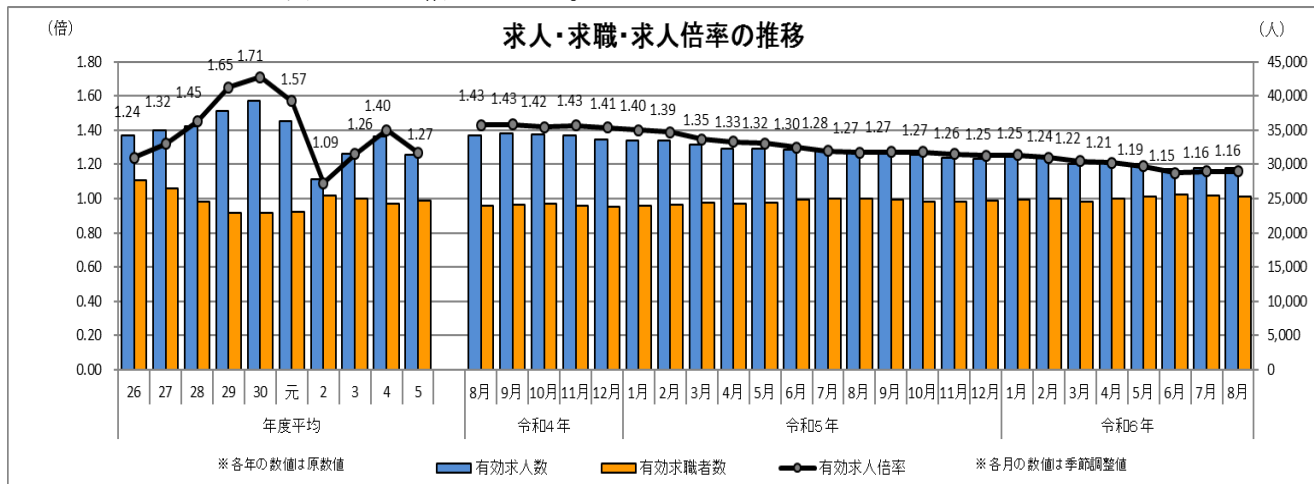
三重県の一般職業紹介状況 《令和6年8月内容》

- **有効求人倍率（季節調整値）は1.16倍で、前月と同数値となった。全国の有効求人倍率は1.23倍。三重の順位は全国第32位。**
 就業地別有効求人倍率（季節調整値）は1.36倍で、前月を0.01ポイント下回る。三重の順位は全国第23位。
- **新規求人倍率（季節調整値）は2.02倍で、前月を0.05ポイント下回った。**
 就業地別新規求人倍率（季節調整値）は2.33倍で、前月を0.14ポイント下回る。
- **県内の雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、求人の動きには足踏みが見られ、改善の動きに弱さが見られる。**

※就業地別求人倍率とは、三重県内を就業地とする求人数を用いて算出した求人倍率。

1 概要

- 有効求人数（季節調整値）は29,426人で前月に比べ0.1%（25人）減少し、有効求職者数（季節調整値）は25,318人で同0.3%（84人）減少した。有効求人数、有効求職者数ともに減少したが、いずれも減少幅はわずかで、数値に大きな変化が無かったことから、有効求人倍率は前月と同じ1.16倍となった。
- 新規求人数（季節調整値）は9,829人で前月に比べ7.8%（832人）減少し、新規求職申込件数（季節調整値）は4,876件で同5.2%（267件）減少した。新規求人数、新規求職申込件数ともに減少したが、分子となる新規求人数の減少幅のほうが大きかったため、新規求人倍率は前月を0.05ポイント下回り2.02倍となった。

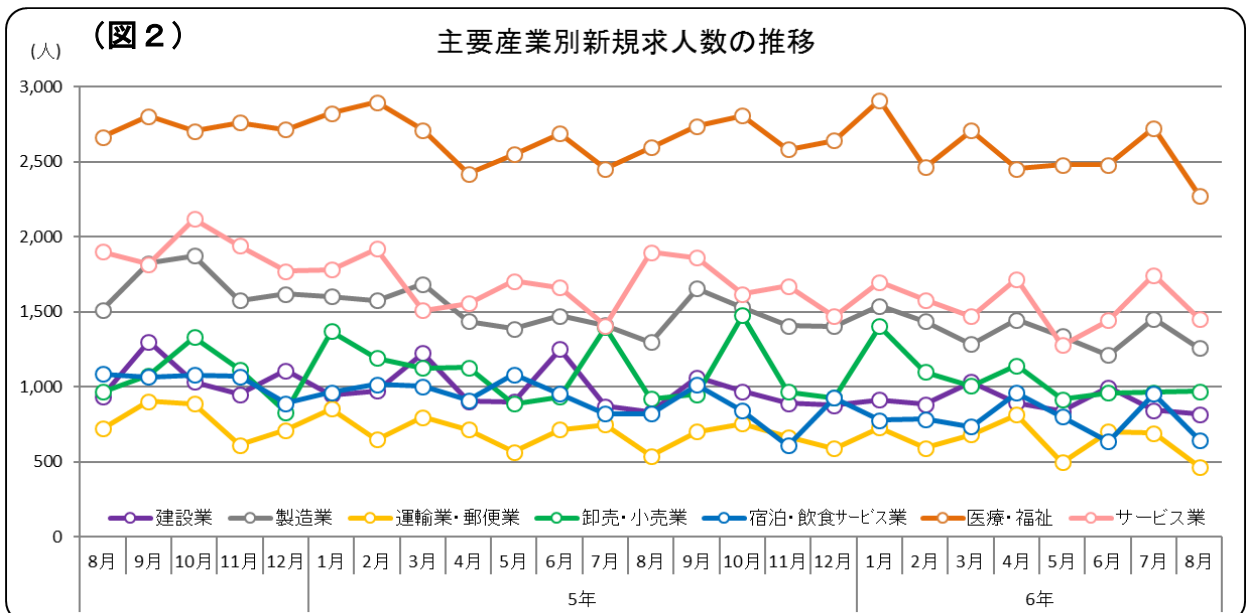
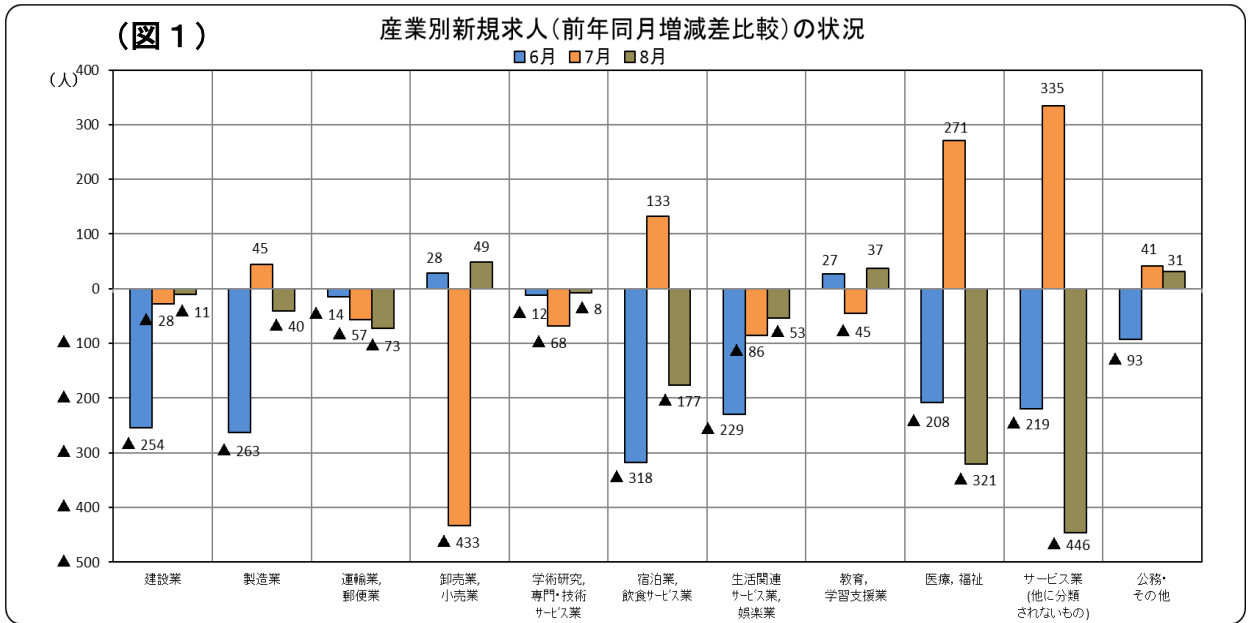


※1 令和5年12月以前の数値は、季節調整値替が行われたことで変更となっているものがあるにご注意ください。

※2 ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

2 求人動向（原数値）

- 新規求人数（原数値）は9,180人で、前年同月より10.4%（1,065人）減少し、2か月ぶりの減少となった。
- 主な産業別で見ると、建設業は▲1.3%（11人減）、製造業は▲3.1%（40人減）、運輸業、郵便業は▲13.5%（73人減）、卸売業、小売業は+5.3%（49人増）、学術研究、専門・技術サービス業は▲4.0%（8人減）、宿泊業、飲食サービス業は▲21.5%（177人減）、生活関連サービス業、娯楽業は▲15.5%（53人減）、教育、学習支援業は+50.0%（37人増）、医療、福祉は▲12.4%（321人減）、サービス業（他に分類されないもの）は▲23.5%（446人減）、公務・その他は+15.4%（31人増）となった。
8月は、前年同月比で求人数が増加した産業が多かった7月とは一転し、主要産業の多くで求人数が減少した。



(表1) 産業別新規求人の状況 (パートを含む全数)

三重労働局計

産 業	6年8月	前年同月	対前年同月		前月
			増減率	増減差	
AB 農 業 , 林 業 , 漁 業	64	123	▲ 48.0	▲ 59	79
C 鉱 業 , 採 石 業 , 砂 利 採 取 業	67	49	36.7	18	13
D 建 設 業	820	831	▲ 1.3	▲ 11	844
E 製 造 業	1,259	1,299	▲ 3.1	▲ 40	1,455
09 食 料 品	260	245	6.1	15	198
10 飲 料 ・ た ば こ ・ 飼 料	8	11	▲ 27.3	▲ 3	14
11 織 維 工 業	19	13	46.2	6	43
12 木 材 ・ 木 製 品	14	14	0.0	0	14
13 家 具 ・ 装 備 品	15	23	▲ 34.8	▲ 8	24
14 パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	11	13	▲ 15.4	▲ 2	25
15 印 刷 ・ 同 関 連 業	8	6	33.3	2	20
16 化 学 工 業	68	68	0.0	0	96
17 石 油 製 品 ・ 石 炭 製 品	2	3	▲ 33.3	▲ 1	3
18 プ ラ ス チ ッ ク 製 品	82	99	▲ 17.2	▲ 17	101
19 ゴ ム 製 品	21	24	▲ 12.5	▲ 3	54
21 窯 業 ・ 土 石 製 品	42	57	▲ 26.3	▲ 15	54
22 鉄 鋼 業	18	17	5.9	1	48
23 非 鉄 金 属	13	13	0.0	0	25
24 金 属 製 品	152	168	▲ 9.5	▲ 16	145
25 は ん 用 機 械 器 具	98	85	15.3	13	67
26 生 産 用 機 械 器 具	60	93	▲ 35.5	▲ 33	83
27 業 務 用 機 械 器 具	14	3	366.7	11	42
28 電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路	37	90	▲ 58.9	▲ 53	50
29 電 気 機 械 器 具	97	81	19.8	16	97
30 情 報 通 信 機 械 器 具	0	8	▲ 100.0	▲ 8	0
31 輸 送 用 機 械 器 具	199	141	41.1	58	207
20,32 そ の 他 の 製 造 業	21	24	▲ 12.5	▲ 3	45
F 電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	35	22	(59.1)	(13)	14
G 情 報 通 信 業	76	54	40.7	22	80
H 運 輸 業 , 郵 便 業	466	539	(▲ 13.5)	(▲ 73)	692
(43 旅 客 運 送)	59	63	▲ 6.3	▲ 4	168
(44 貨 物 運 送)	292	357	▲ 18.2	▲ 65	439
I 卸 売 業 , 小 売 業	970	921	(5.3)	(49)	965
(50~55 卸 売 業)	222	234	(▲ 5.1)	(▲ 12)	213
(56~61 小 売 業)	748	687	(8.9)	(61)	752
J 金 融 業 , 保 険 業	61	74	▲ 17.6	▲ 13	71
K 不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	110	107	2.8	3	138
L 学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	190	198	▲ 4.0	▲ 8	158
M 宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	646	823	▲ 21.5	▲ 177	954
(75 宿 泊 業)	356	301	18.3	55	271
(76 飲 食 店)	233	436	▲ 46.6	▲ 203	550
N 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	289	342	▲ 15.5	▲ 53	261
O 教 育 , 学 習 支 援 業	111	74	50.0	37	124
P 医 療 , 福 祉	2,274	2,595	(▲ 12.4)	(▲ 321)	2,726
(83 医 療 業)	830	904	(▲ 8.2)	(▲ 74)	1,007
(85 社 会 保 険 ・ 社 会 福 祉 ・ 介 護 事 業)	1,438	1,678	(▲ 14.3)	(▲ 240)	1,718
Q 複 合 サ ー ビ ス 事 業	57	94	▲ 39.4	▲ 37	81
R サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	1,453	1,899	(▲ 23.5)	(▲ 446)	1,744
(91 職 業 紹 介 ・ 労 働 者 派 遣 業)	684	936	▲ 26.9	▲ 252	763
ST 公 務 ・ そ の 他	232	201	15.4	31	216
合 計	9,180	10,245	▲ 10.4	▲ 1,065	10,615

(注) 令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分。
対前年同月比については、産業分類改定による影響のある産業について () で示している。

3 求職者の動向（原数値）

- 新規求職申込件数（原数値）は4,409件で、前年同月より12.1%（606件）減少、2か月ぶりの減少となった。
また、新規常用求職者数（原数値）は4,375人で、前年同月より12.3%（612人）減少した。
- 態様別に見ると、「在職者」は1,178人（前年同月比▲16.8%）で2か月ぶりの減少、「無業者」は376人（同▲17.7%）で3か月ぶりの減少、「離職者」は2,821人（同▲9.4%）で2か月ぶりの減少となった。
離職者の内訳を見ると、「事業主都合離職者」は578人（同▲11.5%）で2か月ぶりの減少、「自己都合離職者」は2,027人（同▲8.3%）で2か月ぶりの減少、「定年退職者」は159人（同▲10.7%）で2か月ぶりの減少となった。

（表2）新規求職申込件数と有効求職者数（原数値）

	令和6年8月		前年 同月比	前年 同月差	備考
		前年同月			
新規求職申込件数（件）	4,409	5,015	▲ 12.1	▲ 606	↘ 2か月ぶりの減少
有効求職者数（人）	24,991	24,769	0.9	222	↗ 15か月連続の増加

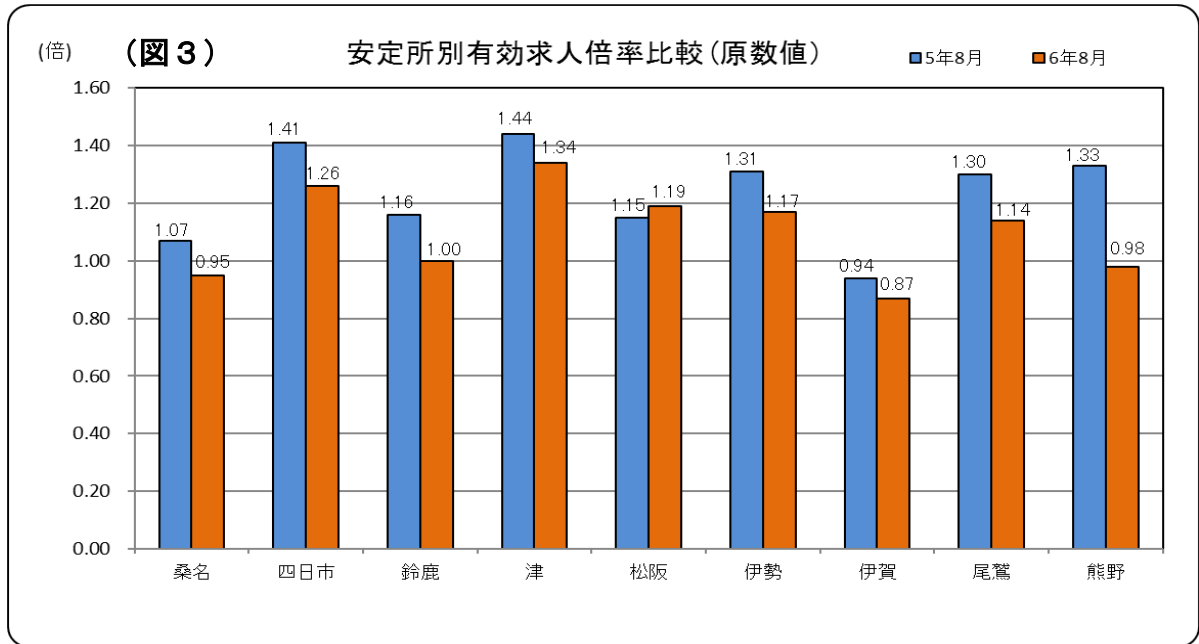
（表3）新規常用求職者の状況（原数値）

態様別	令和6年8月		前年 同月比	前年 同月差	備考
		前年同月			
在職者	1,178	1,416	▲ 16.8	▲ 238	↘ 2か月ぶりの減少
無業者	376	457	▲ 17.7	▲ 81	↘ 3か月ぶりの減少
離職者	2,821	3,114	▲ 9.4	▲ 293	↘ 2か月ぶりの減少
事業主都合	578	653	▲ 11.5	▲ 75	↘ 2か月ぶりの減少
自己都合	2,027	2,211	▲ 8.3	▲ 184	↘ 2か月ぶりの減少
定年退職者	159	178	▲ 10.7	▲ 19	↘ 2か月ぶりの減少
合計	4,375	4,987	▲ 12.3	▲ 612	↘ 2か月ぶりの減少

※離職者の内訳は、主なものを抜粋して掲載しているため、必ずしも離職者の合計とは一致しない。

4 安定所別の有効求人倍率（原数値）

8月は、松阪所を除く8所で前年同月を下回った。又桑名所、伊賀所、熊野所の3所が1倍を下回った。



5 正社員の求人・求職の動向（原数値）

- 正社員の有効求人数（原数値）は13,202人で前年同月より5.7%（791人）減少した。
- 正社員の有効求職者数（原数値）は14,024人で前年同月より2.5%（353人）減少した。
- 前年同月比で有効求人数、有効求職者数ともに減少したが、分子となる有効求人数の減少幅のほうが大きかったため、正社員有効求人倍率は前年同月を0.03ポイント下回り0.94倍となった。

正社員	令和6年8月		前年 同月比	前年 同月差	備考
		前年同月			
有効求人数（人）	13,202	13,993	▲ 5.7	▲ 791	↘ 20か月連続の減少
有効求職者数（人）	14,024	14,377	▲ 2.5	▲ 353	↘ 16か月ぶりの減少
有効求人倍率	0.94	0.97		▲ 0.03	↘ 17か月連続の低下
全国の有効求人倍率	1.00	1.01		▲ 0.01	↘ 11か月連続の低下

